

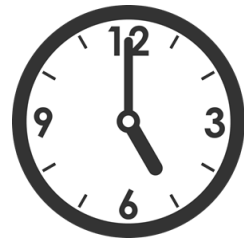
# ウェアラブル端末を活用した建設現場管理について

マルキ建設

# 事業全体のねらい

## <現状・課題>

①工期中の残業時間の発生



17:00~

②社内管理者の現場状況管理



---

# 目標

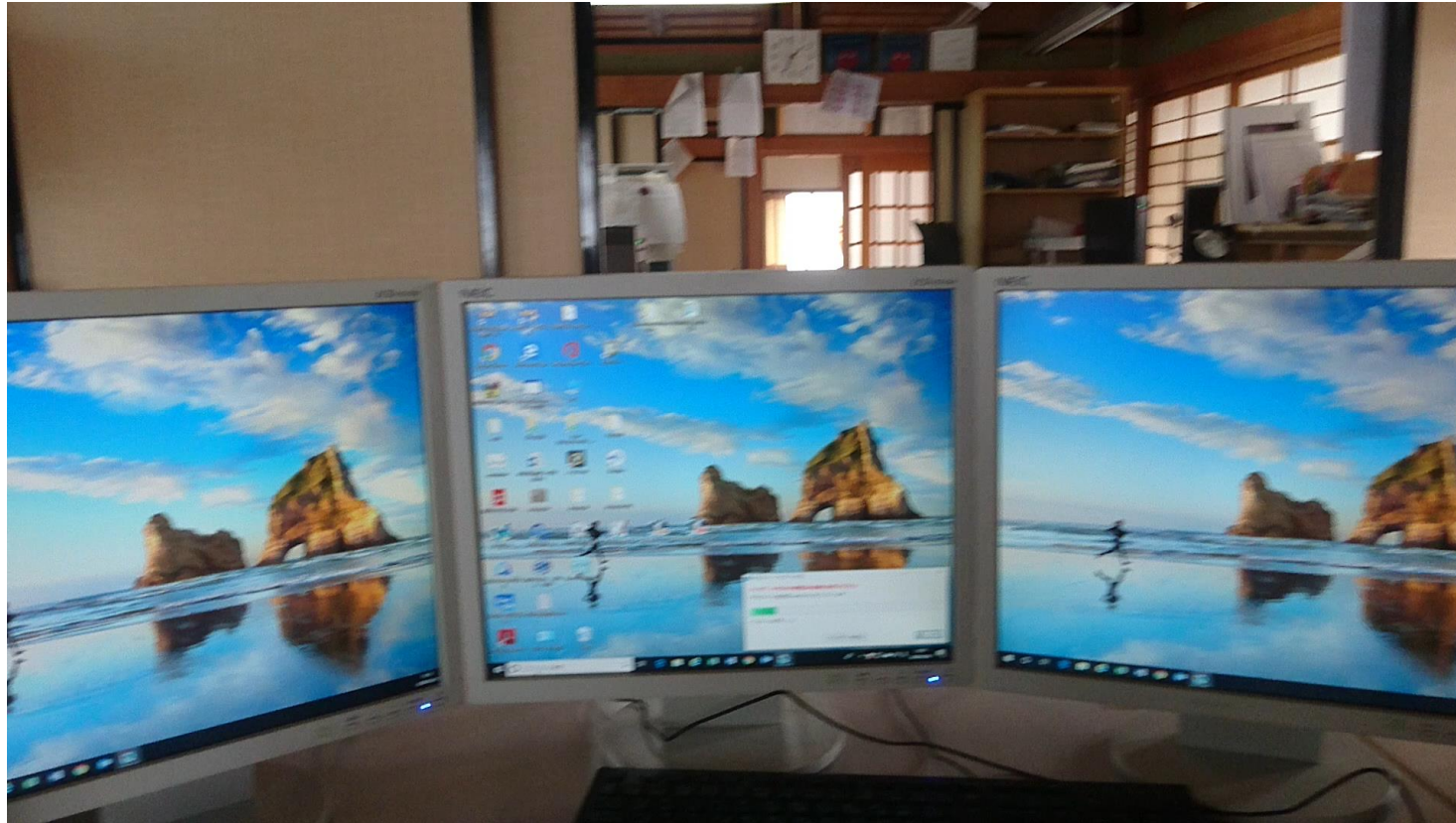
- 時間外作業の削減
- 工事現場と会社事務所の空間共有

# 目標達成に向けて実施した事業・事業内容

ウェアラブルカメラを現場代理人のヘルメットに装着 ⇒ 現場作業員と管理人をネットワークで繋ぐ

# 目標達成に向けて実施した事業・事業内容

カメラが映す映像をリアルタイムで映し出す



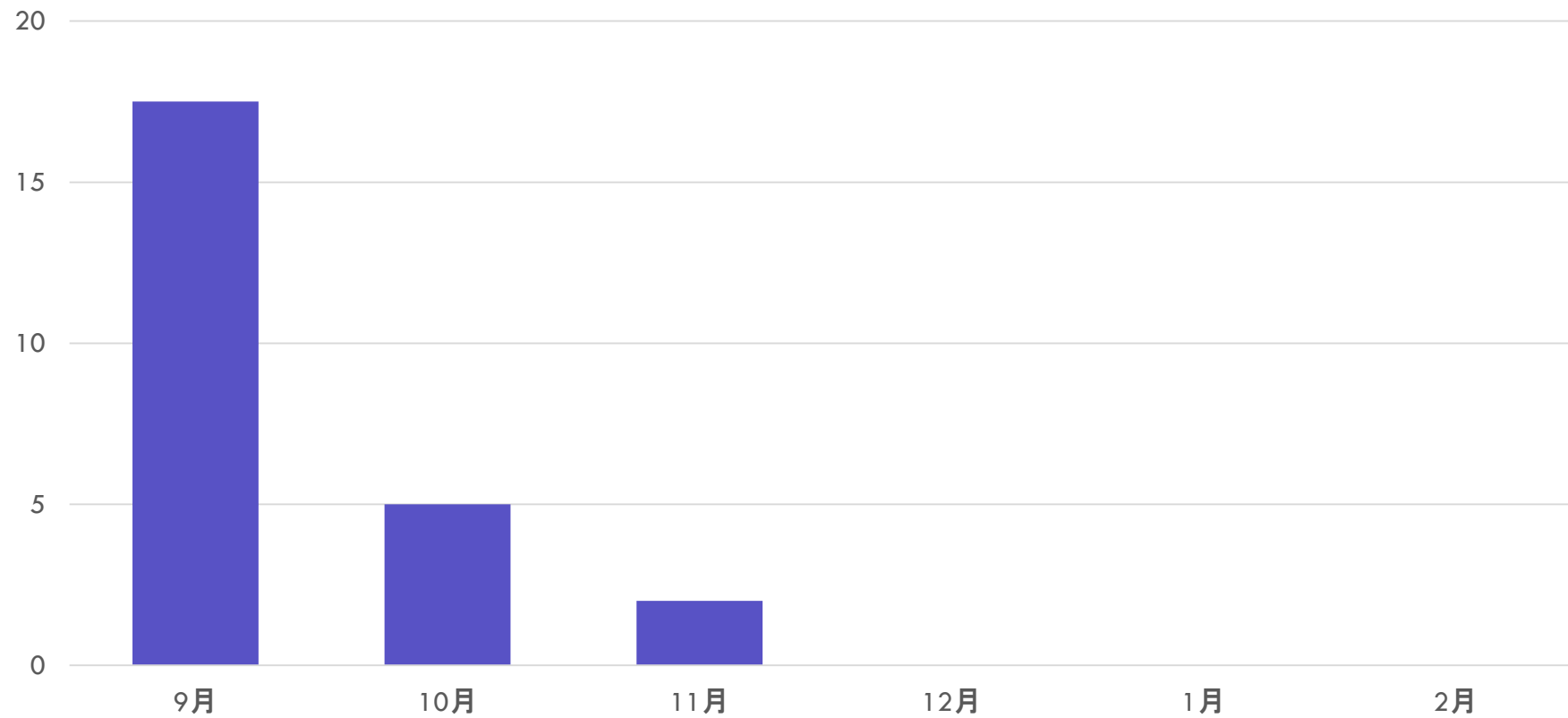
---

# 事業実施の中で工夫した点

- 時間外作業の削減
- 工事現場と事務所の空間共有

# 事業の実績・成果

残業時間



# 事業の実績・成果

量的KPI 管理部及び現場代理人の残業時間削減

17.5時間→5ヶ月／7時間＝ 1.4／1か月

**92%削減！**



---

## 事業の実績・成果

社内管理者の指摘によりバルーンライトを設置

質的KPI 管理部の安全指示◎

ヒヤリハット件数の  
削減達成

## 事業の課題

- 事業実施直後は運用方法などうまくできなかったが時間がたつにつれ要領よくこなせるようになり色々な使い方ができるようになった。（実施直後からうまく使いたかった。）
- 施工方法は現場開始前に検討してあり、施工方法を見直し工期短縮ほどの提案はでなかった。

# モデルを踏まえた今後の展望

- 本事業にて構築されたモデルを市内中小企業等で応用
- 島田市内の同様の課題を抱える他社への横展開
- 大きな事故を未然に防ぐ第一歩となる人命保護

これらの点に大きな期待ができる。